

令和3年度 三重大学 オンデマンド動画配信講習全講習一覧

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
**なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
 実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。**

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【必修】教育の最新事情1～障がいのある子どもに対する教育支援・教育の動向と教員の子ども観～	【オンデマンド型】「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	菊池 紀彦(教育学部教授) 大日方 真史(教育学部准教授)	全教員	全教員	130人
【必修】教育の最新事情2～合理的配慮と障がいのある子どもに対する教育支援～	【オンデマンド型】「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	菊池 紀彦(教育学部教授)	全教員	全教員	130人
【必修】教育の最新事情3～我が国の教育課題と教育観についての省察～	【オンデマンド型】「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。特に、本講習では、我が国の教育課題を世界の教育の動きや将来に向けての教育(Society5.0への対応)から考える。また、教員として教育観についての省察(ふりかえり)を重視する。	須曾野 仁志(教育学研究科教授)	全教員	全教員	180人
【必修】教育の最新事情4～脳科学や心理学の最新知見を、学校現場でどう活かすか～	【オンデマンド型】「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	松浦 直己(教育学部教授)	全教員	全教員	130人
【必修】教育の最新事情5～諸外国の事情～	【オンデマンド型】「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	須曾野 仁志(教育学研究科教授) 伊藤 敏子(教育学部教授)	全教員	全教員	200人
【必修】教育の最新事情6～教員として学び続け、教育実践を改善する～	【オンデマンド型】「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。特に、本講習では、教員として学び続けることの大切さを重視し、授業や学校での教育指導等の教育実践をいかに改善するかについて学んでいく。	須曾野 仁志(教育学研究科教授)	全教員	全教員	180人
【選択必修】教育の情報化とプログラミング教育の基礎	【オンデマンド型】教育の情報化の観点から、授業におけるICT活用に関して概説し、授業においてICTを活用して効果的な指導を行うための基本的事項について講義する。さらに、情報モラル教育およびプログラミング教育について、小中学校におけるプログラミング教育等の実践事例をもとに、情報活用能力の育成や現代における情報教育の位置づけなどについて、講義と演習を通じて学ぶ。	中西 康雅(教育学部准教授)	全教員	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人

令和3年度 三重大学 オンデマンド動画配信講習全講習一覧

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
 なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
 実際の受講期間は**全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)**ですので、ご注意ください。

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択必修】ADHD、自閉症スペクトラム、学習障害の理解と対応について	【オンデマンド型】通常学級では、ADHD、自閉症スペクトラム、学習障害などの発達障害を有する児童生徒は、学習や行動において多様な問題を示すことが多い。一方の症状の多様さや深刻度は個人差があまりにも大きいため、教育現場では対応に苦慮する場面も多くみられる。それらの特性を理解するためには、標準化された尺度で評価することが重要である。本講義ではそれらの具体的な使用例を解説する。また学習障害、特にディスレキシアの理解と対応について本講義で解説する。	松浦 直己(教育学部教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	120人
【選択必修】発達障害のある幼児・児童・生徒や気になる子への教育や支援の現状と対応	【オンデマンド型】現在、通常学級や特別支援学級において、または通級指導により発達障害のある幼児・児童・生徒や気になる子への教育や支援が行われている。学習面や行動面において困難を示す幼児・児童・生徒への教育や支援の現状について、また指導法等について事例等を用いながら概説する(担当:森)。学習面や行動面、対人関係での失敗経験から、不安の高まりや意欲の喪失といった適応困難を招くこともある。そうした幼児・児童・生徒への理解や、心理的介入等について、講義やワークを通して紹介する(風間)。	森 浩平(教育学部講師) 風間 惇希(学生総合支援センター・障がい学生支援室講師)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】新要領・指針から見る保育・幼児教育のこれから	【オンデマンド型】新要領・指針では、保育・幼児教育の何がどのように変わったのか。改訂・改定の背景には何があり、これからの時代にはどのようなことが求められているか。海外の教育・保育事情や現場における実践事例などをふまえながら解説し、考えたい。また、小学校教諭にとっても保幼小の円滑な接続・連携の観点から保育・幼児教育に関する知識・理解を得て、接続・連携に向けたカリキュラムづくりの参考となるような講習となっている。	富田 昌平(教育学部教授)	全教員	幼稚園 小学校	70人
【選択必修】学習心理学から考える協同的アクティブラーニング	【オンデマンド型】新学習指導要領において、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)を取り入れることが求められているが、これは「教え」から「学び」へのパラダイムシフトを求めるものである。そのため、「主体的・対話的で深い学び」の真の理解には、人がいかに学ぶかについて理解が重要である。そこで、本講習では「学び」について、科学的な探究を行っている学習心理学の観点から「主体的・対話的で深い学び」について考えたい。特に、主体的・対話的で深い学びの中で「対話的」の部分に着目し、協同による学びを中心に考えていきたい。	中西 良文(教育学部教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】「チームとしての学校」を考える～多忙化の解消・同僚性の構築・新たなリーダーシップ～	【オンデマンド型】現在のわが国の学校では、教師の指導力の向上だけでなく、職務の多忙化や教員の孤立化といった課題に対応するために、学校組織の総合力を高めることが重要課題となっている。この課題に応えるためには、学校内での教職員の協働文化を形成するだけでなく、学校と地域社会との連携・協力体制を構築し、学校内外の様々な人材や専門家(専門スタッフ)の力を積極的に活用していくこと、すなわち「チームとしての学校」構想を実現することが求められる。本講習では、教育経営学の新しい知見を踏まえながら、これらのテーマについて考察する。	織田 泰幸(教育学研究科准教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】参加・発信型のICT学習利用	【オンデマンド型】アクティブラーニングを実現するために、基本となる考え方や学習成果の活用について説明し、コンピュータやネットワーク等の活用について事例を紹介する。さらに、学習者の立場となったことを想定し、フォトムービー、プレゼンテーション、スクラッチプログラミング、1人1台PCの活用等、主に演習形式で講習を進めていく。	須曾野 仁志(教育学研究科教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	150人

令和3年度 三重大学 オンデマンド動画配信講習全講習一覧

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択必修】児童が楽しんで学べる外国語活動・外国語指導法	【オンデマンド型】児童が英語に興味関心を持って楽しく効果的に学べるように、英語指導の「い・ろ・は」を学びます。英語指導が初めての方でも安心してご参加いただけます。また、発達段階や第二言語習得概論にも触れますので、幼い子どもへの早期英語教育に関心のある方や、中高の先生方にもご参加いただけます。小学校の新学習指導要領に含まれるフォニックス、ICTの活用、複式学級での指導法もご紹介いたします。	大野 恵理(教育学部准教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】教育活動全体を通して組織的・体系的に行うキャリア教育	【オンデマンド型】キャリア教育は、学校における教育活動全体の中で計画的・組織的に取り組み、イベント的な活動だけで終わらせないようにすることが大切である。キャリアは、子どもの発達段階やその発達課題達成と深く関わりながら段階を追って発達していくものである。これに応じて体系的に取り組む必要がある。この講習では、学ぶことと自己の将来のつながりを見通しながら社会的、職業的自立に向けて必要となる資質・能力を身に付けさせるため、それに必要な指導力の向上を図る。特に、高校での具体的な取り組みを例に挙げながら講習を行う。	齋藤 俊彰(生物資源学部非常勤講師)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】主体的・対話的で深い学びを実現するインストラクショナルデザインの理論とモデル	【オンデマンド型】新学習指導要領で示されている資質及び能力の育成のための主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善には、実践的な理論とモデルが必要である。本講習は、「学習者中心の学びを実現するインストラクショナルデザインの理論とモデル」から、実践的な理論とモデルの普遍的な原理や理論的な基盤について学び、職種や学校種・教科に関係なく、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を設計(デザイン)できるようになることを目指します。	宮下 伊吉(地域人材教育開発機構准教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】いじめ問題や体罰の未然防止と教育相談(いじめ、不登校問題を含む) 三重県教員免許状更新講習連絡協議会主催	【オンデマンド型】(1)過去に社会問題化したいじめ問題から、国や学校はどのような対策を講じ今日に至っているかを振り返り、教師一人ひとりができる効果的な取組を考える。また、体罰未然防止に必要な子どもファーストの学校の雰囲気や危機管理について考える。 (2)学級担任は、いじめや不登校、学力不振や行動上の問題を抱えた幼児・児童・生徒や、その保護者の教育・発達相談に適切に対応しなければならない。どのように教育相談を進めればよいのかについて、具体的な事例にもふれつつ解説する。	水谷 明弘(鈴鹿大学 こども教育学部教授) 山口 昌澄(高田短期大学 子ども学科教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択】日常生活と社会科学を結ぶアクティブラーニング実践	【オンデマンド型】文科系の大学に進学したいが、何を学びたいかわからないという生徒に対して実践するアクティブラーニングのワークショップ。日常生活の中から法則性を発見し、それを説明・解釈し、応用に結びつけるグループ学習を行わせることを通して、身近な現象が社会科学との接点を探り、社会科学を学ぶことの意義に気づかせる教育実践を紹介する。受講生は、実際に体験することを通して、高等学校における総合学習型授業の可能性を議論する。	中川 正(人文学部教授)	教諭	高等学校教諭	50人
【選択】日本の社会保障政策	【オンデマンド型】日本の社会保障政策等についての講義を行います。これにより、受講者の皆さんに日本の社会保障政策等についての知識を得ていただき、幼稚園・学校教育において、これから社会人として生活し働くこととなる幼児、児童、生徒、学生等に対し、病気等困難な状況に陥った時には社会保障制度というセーフティネットがあることを伝えていただきたいと思います。	岩崎 克則(人文学部准教授)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	50人

令和3年度 三重大学 オンデマンド動画配信講習全講習一覧

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
**なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
 実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。**

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択】昔話と古典文学	【オンデマンド型】一寸法師や浦島太郎など、日本の昔話について、古典文学の知見を用いて読解する。一寸法師はなぜ「一寸」なのか、打ち出の小槌はどのように使うのか、浦島太郎の玉手箱の中身は何か、乙姫様の素姓、などの不思議を解明して行く。資料は配付します。	松本 昭彦(教育学部教授)	教諭	小学校教諭、中学校・高等学校(国語)教諭	50人
【選択】学習者(国語教育・日本語教育)の初期教育における文字表記の問題点と指導法	【オンデマンド型】国語教育、日本語教育の初期教育段階における学習者に共通する文字表記の諸問題の中から、①「撥音(ン)・促音(ッ)・長音(ー)」と②「直音と拗音」、③「エ列・オ列長音」を中心に取り上げる。①、②、③の表記時において、初学者が、つまづきポイントについて具体的に取り上げ、音声学・音韻論の基本的な知見を援用しつつ、わかりやすく、その解決策を考え、指導案を検討する。	余 健(教育学部教授)	教諭	幼稚園・小学校教諭	50人
【選択】これからの読解力を育てる小学校国語科の授業	【オンデマンド型】小学校の国語科において、PISA(OECD生徒の学習到達度調査)をふまえた読解力を育てるための授業が様々な実践されてきた。本講習では、そうした授業実践の成果をふまえつつ、学習指導要領(平成29年3月告示)も視野に入れながら、教科書掲載の教材を具体的に取り上げて、これからの読解力を育てられる授業のあり方について考える。	守田 庸一(教育学部教授)	教諭	小学校教諭	50人
【選択】中学・高校の現代文定番教材を読みなおす	【オンデマンド型】中学校および高等学校の国語の教科書(現代文)に掲載されている文学作品のうち、採録数の多い定番教材を取り上げ、その内容を分析する。指導法が固定化してしまう傾向にある定番教材を文学研究の方法を導入して読みなおすことで、古典化した近代文学作品を現代で学ぶ意義について考察する。	和田 崇(教育学部准教授)	教諭	中学校・高等学校(国語)教諭	50人
【選択】書写の内容と指導方法	【オンデマンド型】「文字を書くこと」への興味関心を引き出す役割を担う書写指導の在り方を、講義と実技を通し、再認識することを目標とする。講義では、国語科書写の指導内容や方向性、更に「文字を書くこと」と他教科とのつながりについて理解を深める。実技では、毛筆による基本的技法を習得し、指導力向上を目指す。具体的には、基本点画の書き方と共に、小中学校教科書の文字を例に文字の整え方を取り上げる。なお、実技は、動画を見て、各自一定時間練習する形とする。	林 朝子(教育学部教授)	教諭	小学校教諭、中学校(国語)教諭	50人
【選択】論理トレーニング	【オンデマンド型】本講習では論理を、狭義の数学的な記号論理学が扱う論証の妥当性よりは広く、換言、例示、補足、理由・帰結などの、文と文の接続関係と捉え、日本語の文章を読んでそれらの関係を適切に把握するトレーニング、それらの関係を適切に表現して日本語の文章を書くトレーニングを行い、各職種・教科の教諭の論理的な日本語運用能力の向上を目指す。(教科は問わないが、社会科(地歴・公民)を念頭に置いた授業内容)	秋元 ひろと(教育学部教授)	教諭	小学校教諭、中学校・高等学校教諭	50人
【選択】清朝の統治構造と現代中国	【オンデマンド型】現代中国では、民族問題や国家の「分裂」「統一」といった言葉が、マスコミ報道でしばしばなされている。ここで言われている「中国」「中国人」とは、一体何なのか。本講習では、これについて歴史的に考えることで、現代の東アジア世界に関する理解を深めることを目指します。	大坪 慶之(教育学部准教授)	教諭	小学校教諭、中学校・高等学校(社会科、地理歴史)教諭	50人
【選択】公民経済分野の基礎と要点	【オンデマンド型】消費、雇用、賃金など経済に関わる概念は私たちの生活にとって最も身近で重要であるにも関わらず、学校では経済分野の授業について十分な時間を確保することが難しいということも少なくない。この講習では、公民の教科書で取り上げられる経済分野の基礎知識について、新聞・ニュースを使って現実の経済の動きを意識しながら講義する。その他、生徒が興味を持ちやすい事例を紹介する。	内田 秀昭(教育学部准教授)	教諭	中学校(社会)・高等学校(公民)教諭	50人

令和3年度 三重大学 オンデマンド動画配信講習全講習一覧

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
**なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
 実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。**

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択】数と図形の話	【オンデマンド型】数と図形の関係について、歴史的説明も加えながら、学ぶ。小学校から学んで来た記号についての学習に加え算数数学の考え方を、対話形式で学習し、時間の範囲で現代の問題にも触れる予定である。	新田 貴士(教育学部教授)	教諭	幼稚園・小学校、中学校・高等学校(数学)教諭、特別支援学校教諭	50人
【選択】魅惑の数「黄金比と円周率」	【オンデマンド型】最も美しい比率とされる黄金比は、彫刻や絵画だけでなく身の回りにおける図形や自然現象などにも現れ、単なる比率ではない様々な数的事象を含んでいる。また円周率 π は、円周と直径の比率であるが物理学や工学といった分野にも出現し、古代ギリシャの時代から今日まで5千年以上にもわたって人類を魅了し続けている。本講習では、黄金比と円周率の持つ魅惑を通して自然と数学との関わりや身近にある数学を受講者と共に堪能したい。	玉城 政和(教育学部教授) 森山 貴之(教養教育准教授)	教諭	中学校(数学)・高等学校(数学)教諭	50人
【選択】わかる算数の授業を目指して	【オンデマンド型】 ・繰り上がり、繰り下がりが十分にできないで2年生になっても指計算をしている児童の学力回復の教具の作成とその理論を説明します。 ・割合は子どもにとって難しいと言われて数十年経ちます。7割～8割の児童が理解できる指導法の説明をします。 ・その他、ご質問を受けます。	中西 正治(教育学部特任教授)	教諭	小学校教諭	50人
【選択】小中学校で使える地学教材:体験を通して学ぶ活用	【オンデマンド型】小学校・中学校理科の授業で使える地学分野(天文・地質)の教材を実際に体験して活用方法を学ぶ。天文分野では学校で使えるデジタルコンテンツを紹介し、学校での利用について検討を行う。地質分野では学校で使えるデジタルコンテンツと岩石・地層・化石の教材などを紹介する。	伊藤 信成(教育学部教授) 栗原 行人(教育学部教授)	教諭	小学校・中学校(理科)教諭	50人
【選択】理科の授業に役立つ科学教育シミュレーション	【オンデマンド型】無料で使える科学教育用のシミュレーション教材PhET(フェット)を、小学校理科、中学校理科(第一分野)、高校理科の授業に役立てる方法を紹介します。特に物理の力学・電磁気学・熱力学分野に重点を置き、いくつかのシミュレータを実際に動作させて数値実験を体験します。また授業で使えるワークシートも配布しますので、講習終了後には授業での演示実験だけでなく、生徒のグループ学習等にPhETを役立てることができるようになります。	國仲 寛人(教育学部准教授)	教諭	小学校・中学校(理科)・高等学校(理科)教諭	50人
【選択】小学校音楽科の授業づくり	【オンデマンド型】小学校音楽科の授業づくりについて、その基本的な考え方を理解し、授業をつくる力身につけることを目標とする。とりわけ、小学校音楽科の授業づくりにおける3つの授業構成法を中心に講義を行う。また、教師の教授行為と学習活動の工夫という点についても触れる。さらに、教育現場から要望の多い鑑賞、音楽づくりを中心にした具体的な指導のポイントについても触れる。	川村 有美(教育学部准教授)	教諭	小学校教諭	50人
【選択】鑑賞教育(美術)	【オンデマンド型】学習指導要領の改訂によって、中学校・高等学校の美術教育における鑑賞教育の重要性が以前にも増して高まってきている。そこで、この講習では、日本美術を対象として取り上げ、美術作品の鑑賞および教育の方法について検討するとともに、日本の美術や伝統と文化に対する理解を深め、美術を通じた国際理解を深める方法についても考察する。	山口 泰弘(教育学部教授)	教諭	中学校(美術)・高等学校(美術)教諭	50人
【選択】子どもの発育発達・運動と健康	【オンデマンド型】現代の日本では仲間、空間、時間といった子ども達の運動(遊び)に関わる要因が変化し、体力低下や生活習慣病の顕在化、メンタルヘルスなど様々な問題が生じている。本講習では子ども達の健康に関わる環境の変化や身体活動の状況を概観するとともに、肥満ややせと病気との関わり、骨密度の状態などを事例とし、発育期における運動実践の意義について学び、体力向上を目指した豊かな実践を行うことを目指す。	富樫 健二(教育学部教授)	教諭 養護教諭	小学校教諭、養護教諭	50人

令和3年度 三重大学 オンデマンド動画配信講習全講習一覧

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
**なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
 実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。**

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択】全校種を通してものづくり教育に取り組むことの必要性	【オンデマンド型】世界的に最も貧弱な技術教育しか受けていない日本の子どもたちに、予測不可能な時代を生きるために必要なものづくり教育について考えます。教材開発や教科横断的なカリキュラムを考える手法、また具体的な教材も紹介します。	松本 金矢(教育学部教授)	教諭	幼稚園・小学校、中学校(技術)、高等学校(工業)教諭、特別支援学校教諭	50人
【選択】コンピュータハードウェアの基礎	【オンデマンド型】授業中等のトラブル発生時に対処ができるようになることを目指し、Windowsデスクトップパソコンを用いて、ハードウェア部品の解説を行う。部品の調達についてもインターネットを使って注文一步手前まで行い、養護教諭も含め様々なパソコンを使う業務や授業において、ハードウェアの故障箇所を特定し部品調達や機種選定ができるようになることを目指す。幼稚園教諭、養護教諭も使用中のパソコンが壊れたとか異常が出た時に対処できるようになります。	山守 一徳(教育学部教授)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭	50人
【選択】VBAによるプログラミング入門	【オンデマンド型】近年、プログラミング教育の必要性が高まっており、社会的にも注目されている。本講習では、ある程度本格的にプログラミングの基礎を理解することを目的として、マイクロソフト エクセル VBA(Visual Basic for Applications)によるプログラミングについての講習を行う。	萩原 克幸(教育学部教授)	教諭	幼稚園・小学校教諭・中学校・高等学校・特別支援教諭	50人
【選択】家庭科における「消費生活・環境」の授業づくり	【オンデマンド型】現代の消費生活の特徴を理解し、消費者教育の必要性を考える。また消費者教育の概念、内容、方法、学習指導要領における消費者教育のねらいを理解し、授業実践例や教材を参考にしながら、家庭科における消費生活と環境に関する学習の授業構想や教材の工夫ができるようになることを目指す。	吉本 敏子(教育学部特任教授)	教諭	小学校教諭、中学校・高等学校(家庭)教諭	50人
【選択】異文化コミュニケーション	【オンデマンド型】異文化コミュニケーションの基本的知識や理論を理解、習得する。異文化を多面的にとらえ、異文化の人々や言語との関わりを理解し、グローバル社会において求められるコミュニケーション能力を養う。	荒尾 浩子(教育学部教授)	教諭	小学校・中学校教諭	50人
【選択】学校でできる虐待対応・愛着の障害および発達の問題について	【オンデマンド型】三重県は虐待ケースについて全国に先駆けて、先行事例の分析に基づいた「リスクアセスメントシート」を作成し、それらを活用することにより深刻な事態に発展することを防いでいる。これらの活用と運用については、学校との連携がきわめて重要になる。三重県の取り組みと学校でできる虐待対応について講義する。 愛着の問題を抱える子ども達は少なくないが、近年、愛着障害の概念についてはかなり拡大されすぎている。「愛着」について概括し、それらが発達の問題と複雑に絡むこと、どのように対応すればよいのかについて講義する。	松浦 直己(教育学部教授) 鈴木 聡(非常勤講師)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	120人
【選択】学習モチベーションの心理学	【オンデマンド型】人の(学びに対する)やる気・モチベーションはどのようなものか、また、それらに働きかけていくにはどうすればよいかについては、これまで心理学の研究において一定の知見が蓄積されている。そして、これらは現実の教室場面においても適用可能なものである。本講習では、特に、教室場面に適用可能な内容に焦点を当てながら、(学びへの)モチベーションに関する心理学的知見の紹介を行う。	中西 良文(教育学部教授)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	50人

令和3年度 三重大学 オンデマンド動画配信講習全講習一覧

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択】学校・学級・家族の思い出をまとめるフォトムービーの制作	【オンデマンド型】講習参加者が、学校・学級・家族の思い出を、写真や絵(静止画)を使って、2～3分程度のフォトムービー(ストーリー)を作っていきます。制作者の音声を入れ、自分自身のことを語ればデジタルストーリーテリングの作品も制作できます。音声や音楽を入れる入れないは制作者の自由です。学校園の卒業式、学年・学級・部活等の思い出ビデオ、家族のストーリー等、講習後使える手法を習得します。	須曾野 仁志(教育学研究科教授)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	150人
【選択】これならできる簡単スクラッチプログラミング	【オンデマンド型】講習参加者が、児童生徒になったつもりで画面上のネコを動かすスクラッチプログラミングに取り組みます。まず、ネコに正方形、多角形、星形、オリンピックの五輪をどのように描けばよいかを考え、命令を組み合わせて、簡単なプログラムを作ります。また、音を鳴らす命令を学び、短いメロディを鳴らせるようにします。特に、小中学校でどのようにプログラミング学習を導入すればよいか、家庭内で子どもたちにプログラミング力をどう習得したいかを学びたい教員向きの講習です。高校生がスクラッチを使った実践例や、幼児が幼稚園でスクラッチジュニア(Jr、iPad用)を使った実践例についても紹介します。	須曾野 仁志(教育学研究科教授)	教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭	150人
【選択】三重大学東紀州サテライト教育学舎による教育支援と地域の特色を活かす今後の活動	【オンデマンド型】三重大学東紀州サテライト教育学舎が2017年から行ってきた東紀州地域での教育支援活動を紹介する。具体的に、教職大学院生の2週間実習、小学校英語での指導案・教材作り、幼稚園・小中学校でのスクラッチプログラミング授業、中・高校でのフォトムービー作成等を取り上げる。その後、校種別に分かれ、少人数学級や少子化が進む地域で、大学と連携を取りながらどのような教育実践が可能かを話し合い提案をまとめる。養護教諭が学べる内容についても取り入れる予定です。	須曾野 仁志(教育学研究科教授)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	150人
【選択】救急蘇生・窒息・インフルエンザ・溺水・熱中症	【オンデマンド型】救急蘇生法は5年毎に見直しが行われていて、変更点がある可能性があります。2020年の変更点を踏まえて解説したいと考えております。幼児、児童又は生徒に対する教科指導及び生徒指導上の課題として、心肺停止、インフルエンザ・溺水・熱中症・窒息が起こる仕組みを説明し、学校教育現場で役立つための講習を目指しております。一方、皆様ご自身の生活のお役に立つ知識・技能をお知らせし、学校現場で健康で安全な日常生活となるよう実行していただくことを願っております。	丸山 一男(医学系研究科教授)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	120人
【選択】学校保健	【オンデマンド型】園児、学童、生徒が、安全で健康的な学校生活を送ることができるよう、学校生活の場で遭遇する医学的課題について学ぶことを本講習の目的とする。具体的には、以下の4専門領域の講師が講義を行う。 1. 心臓性突然死とAED、2. アレルギー性疾患 3. 学校での感染症と対応、4. 発達障害等の発達上の問題	三谷 義英(医学系研究科准教授) 菅 秀(非常勤講師) 長尾 みづほ(非常勤講師) 山川 紀子(非常勤講師)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	50人
【選択】生体神経回路と人工知能の基礎	【オンデマンド型】最近、いわゆる『人工知能』の技術活用によって、産業・医療・経済・政治・科学・教育など、様々な分野でパラダイムシフトが起きています。そこでこの講習では、『人工知能』に関する正しい基礎知識を学ぶため、我々ヒトを含む脊椎動物の知能を司る神経細胞の回路と、人工知能における人工ニューラルネットワークについて、両者の類似点と相違点を学びます。高等学校等におけるデータサイエンス関連科目への理解を深めるとい、ねらいがあります。	林田 祐樹(工学研究科教授)	教諭	高等学校教諭(情報)	50人

令和3年度 三重大学 オンデマンド動画配信講習全講習一覧

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
 なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択】バイオマスによる化石資源代替	【オンデマンド型】植物は二酸化炭素と水から合成される再生可能な有機資源である。とりわけ森林は、地球上における莫大な蓄積量、生産量より、化石資源に替わる次世代資源としてのポテンシャルを秘めている。本講習では、地球温暖化問題、化石資源利用の現状、近年のプラスチック問題などについて概説したのち、バイオマスとは何か、木材に関する基礎、バイオマス発電、バイオエタノール、バイオプラスチック、紙ストローなどの紙製品など、バイオマス資源の多様な利活用と環境問題解決への貢献について説明する。	野中 寛(生物資源学研究科教授)	教諭	幼稚園・小学校・中学校(理科)・高等学校(理科)教諭	50人
【選択】あなたの遺伝子わたしの遺伝子-生命科学を身近な例で学ぶ-	【オンデマンド型】食品機能による健康維持やiPS細胞、遺伝子診断など、多岐にわたる生命科学領域の研究の進展はめざましく、科学立国を目指す日本が科学で世界をリードするには、一人でも多くの生徒・児童が理科に関心をもつことが必須で、そのためには教育現場を担う方がまず関心をもつことが重要です。本講習では、遺伝子やタンパク質の働き、個人差、科学に関する報道記事の見方などを身近な例で学ぶことで、教育現場を担う様々な分野の方が生命科学をより身近に感じ、教育現場に直接あるいは間接的に活かすことができる内容を目指します。	奥村 克純(生物資源学研究科教授)	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	50人
【選択】海の生物の多様性と外来生物問題	【オンデマンド型】海には多くの生物がすんでいます。陸上とはかなり違うところがあります。この講習ではまずみなさんがすんでいる陸上の生物と海の生物は、どんなところが違うのかを問題に答えながら、海の生物の特徴について理解していきます。次に海の生物多様性を知るために、海にすむ代表的な動物門について学んでいきます。後半では生態系や生物多様性に影響を与える海の外来生物について、その特徴や実例を学んでいきます。オンライン授業で質問を投げかけながら、意見を収集する授業の実例についても見ていただくことができます。	木村 妙子(生物資源学研究科教授)	教諭	中学校・高等学校(理科)教諭	50人
【選択】野菜を好きになってたくさん食べよう	【オンデマンド型】健康のために望ましい野菜摂取量は、1日あたり350gとされています。ところが、三重県では男性が269g、女性が240gととも全国43位と野菜摂取量が少ない傾向がみられます。(平成28年国民健康・栄養調査)そこで、野菜のもつ機能性を理解し、摂取量の少ない原因を探りながら、子どもたちが正しい食の選択と、バランスのとれた健康的な食生活を送ることをめざします。児童・生徒、保護者を対象とした「スーパー食育スクール」の成果を踏まえながら、講習を行います。なお、本講習は基礎的な内容のため栄養教諭は対象としません。	齋藤 俊彰(生物資源学部非常勤講師)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	70人
【選択】学びの基盤を育む運動(遊び)	【オンデマンド型】社会や家庭環境の変化も伴って、学校や園において学習面や行動面で課題を持つ子どもが増えてきている。この課題に対して、認知的な側面からのアプローチだけでは解決が難しいため、身体的な側面からのアプローチを考える。その際、単なるトレーニングとして運動を扱うのではなく、運動の文化的な価値との関連から、運動(遊び)に対して夢中になって参加する中で、結果として学習の基盤となる能力を育むことのできる活動内容や展開について考える。	加納 岳拓(教育学部准教授)	教諭	幼稚園・小学校教諭	50人

令和3年度 三重大学 オンデマンド動画配信講習全講習一覧

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
**なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
 実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。**

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択】世界の教育事情	【オンデマンド型】世界ではどのような制度のもとでどのような教育が行われているのか、何が課題とされ、どのような取り組みがなされているのか等、諸外国における学校教育制度やその改革動向、そしてそれらの歴史的・社会的、文化的背景について理解を深める。教育に関する国際的な視点を養うとともに幅広い視野と知見を身に付けることを通して、わが国の学校教育制度や政策について省察する。	下村 智子(教養教育院准教授)	教諭	小学校・中学校・高等学校教諭	70人
【選択】「教えない授業を設計(デザイン)する」	【オンデマンド型】本講習の目的は、学習者中心の学びを実現する「教える技術」(インストラクショナルデザイン)を職種や学校種、教科に関係なく誰もが実践できるようになることです。本講習の目標は、生徒(学習者)が興味を持って取り組めるシナリオ教材(教えない授業)を設計できることです。そのための理論や事例について学び、自分が担当する(したい)授業を題材に、生徒(学習者)が興味を持ち、意欲的に取り組めるシナリオ教材を設計(デザイン)することを通して、「教えない」授業の実践方法を学びます。	宮下 伊吉(地域人材教育開発機構准教授)	教諭	中学校・高等学校教諭	50人
【選択】外国につながる児童のための日本語指導—形容詞と動詞を中心に—	【オンデマンド型】本講習では、ますます増えつつある外国につながる児童のための日本語教育に役立つ形容詞と動詞の活用ルールについて考えていきます。そして、①日本語の形容詞や動詞の活用がうまくできない日本語学習者にとって紛らわしい形容詞や動詞とは何か、②どのように日本語(形容詞や動詞の活用)の訂正を行えばよいかを学びます。さらに、③市販の日本語教科書や活動集・活動例、文科省の日本語教育サイト等を紹介し、日本語練習の可能性について考えていきます。	松岡 知津子(地域人材教育開発機構・国際交流センター准教授)	教諭	小学校教諭	50人
【選択】小学校における英語コミュニケーション能力の育成	【オンデマンド型】本講習では小学校で英語を学ぶ意義を理解し、理論的且つ具体的な実践を学びます。また、幼児・児童・生徒が身に付ける英語コミュニケーション能力は、楽しいゲーム、アクティビティ、英語絵本、英語歌、リズムチャンツ、演劇ワークショップなど多種多様な学習体験によって育つことを知り、4技能をバランス良く学ぶ方法と、評価方法および文字学習(フォニックス指導)について学びます。	清水 万里子(教育学部非常勤講師)	教諭	幼稚園・小学校・中学校(英語)教諭	50人